

知っていますか？ 岡山の水辺の宝もの



アユモドキ



スイゲンゼニタナゴ

アユモドキとスイゲンゼニタナゴは、絶滅のおそれがきわめて高いことから、「種の保存法」で捕獲や販売、譲渡などが禁止されています※。

違反した場合は、1年以下の懲役、100万円以下の罰金が科せられます。
密漁や販売などの違法行為を見つけた場合は、下記のお問い合わせ先か、最寄りの警察までご連絡下さい。

岡山の宝、日本の宝を守るため、みなさんのご協力をお願いします。

※アユモドキは、「文化財保護法」で国の天然記念物にも指定されています。

中国四国地方環境事務所野生生物課
岡山県生活環境部自然環境課
岡山県教育委員会文化財課（アユモドキのみ）

TEL:086-223-1561
TEL:086-226-7309
TEL:086-226-7601

●アユモドキ *Leptobotia curta*

絶滅危惧ⅠA類（環境省レッドデータブック）

国内希少野生動植物種（種の保存法）

国指定天然記念物（文化財保護法）

全長約15cm。河川の中・下流域とその連続した用水路に生息する。6～8月に河川の増水や水田の灌漑などによって生じる一時的な水域で産卵する。ドジョウの仲間だが、泳ぐ姿がアユに似ていることからこの名が付けられた。

全国で、岡山県の三大河川（吉井川、旭川、高梁川）水系と琵琶湖淀川水系のみで記録されている。

★見分けるポイント



子どもの頃

写真：岡山淡水魚研究会

●スイゲンゼニタナゴ *Rhodeus sinensis suigensis*

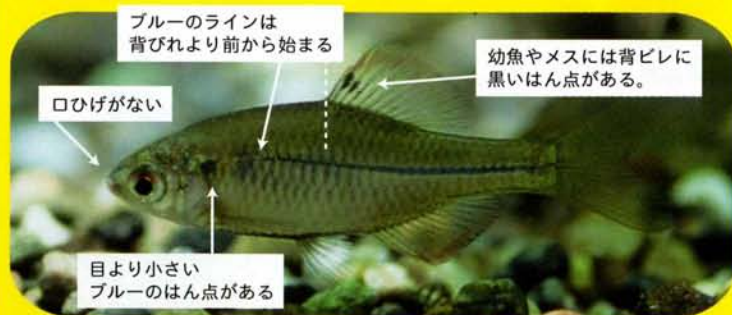
絶滅危惧ⅠA類（環境省レッドデータブック）

国内希少野生動植物種（種の保存法）

全長約5cm。タナゴの仲間中最も小型。平野部から山間部にかけての小河川や用水路などの流れの緩やかなところに生息する。4～7月にイシガイやマツカサガイなどの二枚貝に産卵する。

かつては山陽地方に広く分布していたが、現在は岡山県の三大河川水系と広島県芦田川水系が主な生息地となっている。

★見分けるポイント



イシガイ



マツカサガイ

写真：田賀辰也氏

★絶滅を防ぐためには

- 1 密漁を防ぐ。
- 2 生息地に外来魚（ブラックバス、ブルーギルなど）を侵入させない。
- 3 ゴミを捨てたり、水質を悪化させない。
- 4 水田と水路の段差など水域の連続性を確保する。
- 5 アユモドキの産卵場所となる一時的な水域を確保する。
- 6 スイゲンゼニタナゴが産卵する二枚貝を獲らない。

アユモドキとスイゲンゼニタナゴ どうして減っているの？



スイゲンゼニタナゴの「ゼンヘイ」

アユモドキの「アキゾウ」

